



# 一本木沢ビオトープ親自然体験2025 ～トンボ博士になろう～

令和7年8月30日（土）、十和田市の一本木沢ビオトープにて今年最後となる自然体験学習イベント「トンボ博士になろう」が開催されました。

今年は開催時期を一週間ずらし、見られるトンボの種類が昨年度と比較しどのように変化するかに着目しました。

十和田東コミュニティセンターで北里大学の柿野先生からトンボの生態についての講義を受けた後、参加者はビオトープへ移動します。開催日前日は強い雨が降っていたため当日の天気は危ぶまれていましたが、綺麗な青空が広がり、採取にもってこいの天気となりました。

ビオトープに移動した後、補助として参加した北里大生と共にトンボの採取を行いました。昨年はナツアカネとウスバキトンボでしたが今年はほとんど見られず、代わりにアジアイトトンボやシオカラトンボがビオトープ池周辺で多く採取できました。

またギンヤンマとハグロトンボは今年も見ることができました。水面を素早く飛び回るギンヤンマや木陰をひらひらとチョウのように飛び交うハグロトンボを捕まえようと、参加者たちは懸命に捕虫網を振っていました。



【集合写真】



【ハグロトンボ】

名前通り黒い翅とメタリックな緑色の腹部が特徴的。木陰の多い涼しい場所を好む。



【ギンヤンマ】

腹部の付け根の鮮やかな水色が目を引く。ビオトープ周辺ではオニヤンマに次ぐ大型のトンボ。



【採取したトンボを図鑑で調べる様子】



【採取したトンボをスケッチで報告】